

教員公募

平成 27 年 10 月 13 日

1. 公募人員：北海道大学大学院水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 水産工学分野 助教 1 名
2. 任期：5 年 ただし、審査のうえ 1 回（5 年）を限度として再任可
3. 専門分野：水産工学
（特に漁具や養殖施設の最適化を図るため対象生物の行動特性を解析し、漁業や養魚管理技術に必要な生産システムの開発に関する教育・研究を行う）
4. 資格条件：
 - (1) 博士の学位を有すること
 - (2) 専門分野について研究業績を有すること
5. 主要担当授業科目：
大学院水産科学院：水産工学に関連する科目（特論・特別実験・演習・実習など）
水産学部：海洋資源科学科に関連する科目（講義・実験・演習・実習（乗船実習を含む）など）
総合教育部：水産科学に関連する全学教育科目
6. 採用予定時期：平成 28 年 4 月 1 日
7. 提出書類（各 1 部）：
 - (1) 履歴書（書式任意，ただし，生年月日，現住所，連絡先，高等学校卒業からの学歴，職歴，学位名，学位取得機関，取得年月と学位論文題名，賞罰を記載すること）
なお，平成 25 年 4 月 1 日以降，北海道大学に在職経験（非常勤講師・TA・RA・短期支援員等を含むすべての職種）のある方は，当該履歴を漏れなく記載すること
 - (2) 研究業績一覧：原著論文，シンポジウムプロシーディング，著書，総説，解説，その他に分けて記載のこと（原著論文はレフリー制学術雑誌に掲載されたものと，非レフリー制雑誌に掲載されたものを分けて記載すること。シンポジウムプロシーディングについては査読の有無を記すこと。実質的なコレスポンドイングオーサーになっている共著論文には論文番号の後に＊を付すこと）
 - (3) 主たる研究内容の解説（2,000 字程度）
 - (4) 教育業績一覧（例えば，大学等における講義，実験・演習科目などの担当歴，大学院学生の研究指導歴，社会における教育普及活動実績など）
 - (5) その他の業績一覧（大学等，学会等における活動歴，フィールドワーク活動歴，各種研究費取得歴，社会における教育普及活動歴，特許などについて，あれば記載のこと）
 - (6) 教育・研究に関する抱負（2,000 字程度）
 - (7) 研究業績別刷集 1 部（コピー可）（研究業績一覧に記載したものについてはすべて提出すること）
 - (8) 応募者について照会できる 2 名の氏名と連絡先（ただし，応募者は照会者に連絡を取る必要はありません）
8. 公募締切日：平成 27 年 12 月 14 日（月）17：00 必着
9. 応募書類提出先：
〒041-8611 函館市港町 3 丁目 1 番 1 号
北海道大学大学院水産科学研究院 水産工学分野教員選考委員会 委員長 藤森 康澄
*「教員公募（水産工学分野）」と朱書し，簡易書留で郵送あるいは持参のこと

10. 本公募照会先：水産工学分野教員選考委員会 委員長 藤森康澄
電話：0138-40-8829 E-mail：fujimori@fish.hokudai.ac.jp
本研究院に関する詳細はホームページ <http://www2.fish.hokudai.ac.jp> をご参照ください
11. その他：教員選考委員会から追加書類の提出を求める場合もあります。また，必要に応じて応募者の面接を行います（交通費は応募者の負担）。なお，当該分野は以下の教員から構成されており（平成27年10月13日現在），本公募による採用者は原則として函館キャンパスに勤務することになります
教授：木村暢夫，高木 力
特任教授：芳村康男，平石智徳
准教授：安間洋樹
助教：前川和義，（本公募）
12. 参考：
 - (1) 本公募では，最適な漁業技術や養殖施設設計に資するため，対象生物の行動特性を解析する能力があり，漁業や養殖現場での活動経験のある人材を求めています。本分野での研究の一つである，持続可能な漁業生産を維持するために必要な漁業技術研究を基盤としながら，分野の他の教員とともに，養殖生産技術も視野に入れた先端的な漁業生産システムの構築を目指す意欲ある方を希望します
 - (2) 就業条件については本学が定める就業規則に基づきます
(http://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki_honbun/u010RG00000447.html)
 - (3) 本学は将来ビジョンとして「北海道大学創基150年に向けた近未来戦略」を掲げています
(<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/information/150150.html>)